

本はタダで読むもの

待っている八〇〇〇〇冊

図書館をフルに利用して

市立図書館は、昭和二十四年五月に前田町の仏教会館で開館し、昭和二十九年二月に現在の打出小榎町に移転しました。緑に囲まれた洋風石造、階建の本館がどよよと静かな環境のまを誇っています。移転した当時の蔵書一万余冊は、市民の利用度につれて現在約八万冊に増え、昨年一年間の読書冊数は約七十九万冊。これを金額に換算すると三十九万円相当の本が読まれたことになり、多くの市民の共同研究・レクリエーションの場としてお役に立っています。今月は、図書館がより市民に親しまれ、より幅広く、有効に利用していただくため、あまり知られていない事務などをお知らせし、図書館を積極的に利用していただくことを特集してみました。

読むなら自宅 で落ちついて

米国人は、家庭の中に本をおかないで、百科辞典とむすかな実用書(裁縫・料理など)以外は、学生の自習室化しているといわれました。事実、本市でも公共図書館の本を利用するというのが、一時期は自習の学生で満員となっていました。



教育のページ

「人形劇とお話の会」を楽しむ子供たち

が、米国人一般の常識だといわれています。したがって、この公共図書館も市民がそれぞれ空席がないくらいに落ちついて読むのが普通だといわれています。

これに反して、日本の図書館の利用者は年間約一万人減となり、反対に一般の市民の館内・館外の図書の利用数は約二十冊の増加を示しています。

この傾向は四十二年に比べてさらに増加しています。

これは、図書館利用の考え方が米国人の考え方に近づいたといえます。図書館では流れて沿ってひとりで多く、一冊でも多く市民に利用してもらいたい。図書資料の整備に努力しています。

一般教養、調査研究、レクリエーションのための図書はもちろん郷土資料・美術品・地方行政資料などもそろえています。

図書館での読書は、だれもが自由にはいて好きな本を選ぶ開読室を利用する。読みたい本がない場合、カードで本の記号を調べて書庫から出してもらう。静かな閲覧室で読書を楽しむのもいい。もちろん、図書館の本を自宅でも読むことができます。

つくりと読める館外貸し出しが簡単な手続きでできることはあまり知られていないようです。

図書館には、分室や自動車庫をふくめて約八万冊の本を備えています。このうち郷土資料・年鑑など、どうしても保存を必要とするものを除く約九十万冊の本を館外貸し出しに供しています。

貸し出しの手続きは、小学校一年生以上の市民はだれでも資格があり、はじめて「貸出願書」の用紙をもらって住所・氏名を記入して申し込み、図書館で点検のうえ一年間は、その貸出証と引きかえ、ひとりで二冊一週間以内という条件で、ゆとりで家庭で読書を楽しんでいただけます。

そのつど図書館へ行かなくても

☆☆☆

まち歩きの手紙をおもちのおかきさん、電車やバスに乗るのにおくうたといわれるお年寄りの方は図書館分室をご利用ください。

市民に手近に利用していただくため、市内四カ所(石下)の表に分室を設け、毎週木曜日、本の貸し出しをしています。

各分室には、それぞれ新刊の小説や、一般教養書、児童書など約四百冊をそろえてあります。外出の帰りや、市場への途中で、たおさままの散歩がてら気軽に利用ください。本は四カ月ごとに入れ替えをしています。

この分室は、どなたでも本を借りて帰って自宅へついでに読書が楽しめます。一番はじめだけは、必ずその分室に貸し出し登録のうえ貸出証の発行を受けてください。館外貸出証は以後一年間有効です。

グリーンとブルーのツートンカラーのマイクロバスが、今日も声



この自動車庫は常に千二百冊の本を積みこみ、月一回定められた時間、場所での貸し出しをします。

| 分室 | 所在地 | 開館日時 |
|------|--------|-----------|
| 市民会館 | 業平町74 | 毎週木曜 午前九時 |
| 打出 | 南高15-9 | 毎週木曜 午後一時 |
| 竹園 | 竹園5-6 | 毎週木曜 午後四時 |
| 集会所 | 竹園5-6 | 毎週木曜 午後四時 |
| 集会所 | 竹園5-6 | 毎週木曜 午後四時 |
| 集会所 | 竹園5-6 | 毎週木曜 午後四時 |

現在百五十七グループ、二千八十七人の会員がこの方法を活用しています。

この読書グループは、市民の学習の場をいっそうひろげ、市が意図している市民性の向上、市民の連帯感を養うためのグループづくりに努めています。

希望される方は、平均四世帯十五人くらいのグループをつくり、代表者を決めて図書館へ登録の申し込みをすれば、ひとりで二冊一カ月の読書が楽しめます。

自動車庫に読みたい本がない場合、係に申し出ていただくと次回に配本いたします。

読書相談係があなたの質問に

☆☆☆

読書の楽しさを、おとなも子供も身につけよう。それにはまず親が読書の習慣をつけることです。親の生活に本があれば、だまごころでも子供は本に親しむようになります。

このついでに家族のみんなが読書を通じて、日常会話の中に自然な形で話題が出て共鳴したり意見をた

有益な行事も

☆☆☆

図書館では、このほか読書によって得た知識をよりいっそう深めていただくため、一般成人のための行事や子供対象の行事を行っています。これは実際に現地を見学したり、専門家の講演を聞くことで読書の効果を助けようとするものです。

また、図書館活動の中でも大変興味で非常に有意義な点字実技講習会を開催します。

公民館の文化映画会

明治天皇と日露大戦争

9月17日(火) 午後7時から

市公民館

習っており、大野加久二先生の指導のもとに、初心者、経験者別に広報あしらの点訳に成果をあげています。

このように楽しい生活をすすめていただくと、図書館は利用しなれば損なことになるように思います。

おもな年間行事は次のとおりです。日時などは、そのつど広報あしでお知らせしますのでぜひご参加ください。

◇成人対象市民講演会・市民見学会・点字実技講習会(子供対象) 子供社会見学会・植物採集と名前しらの会・人形劇とお話の会・子供お話し会

上の文字は、図書館関係の人たち間で「図書館」をあらわす文字として用いられています。

さて若原の図書館の開館時間、休日は次のとおり。

一般開館平日・土曜日とも午前九時から午後五時まで、日曜日は学習室として第一閲覧室だけ開きます。図書の貸し出しはしません。

◇小中学生閲覧室 平日・土曜日とも午後一時から午後四時四十五分 休館日 毎週日曜日・国民の祝日・毎月二十日・ばく書期その他

◇九月六日(金) 点訳実技講習会 主として経験のある方を対象に、広報あしやの点訳奉仕を勉強していただく。初級者には点訳実技を指導。

【山手坊】 PTAと幼児学校講演会九月十三日 参観日月中旬

【岩園坊】 体位測定九月七日 参観日十六日 誕生会十七日

市民見学会 市立公民館では、目で見る技術革新の世界」というテーマで、市民見学会を次のとおり催します。参加ご希望の方は、参加費をえて公民館へお申し込みください。

◇とき 九月二十七日(金) 集合 午前九時三十分市民会館玄関

◇コース 毎日放送テレビ万国博会場千里ニュータウン・大阪大学産業科学研究所(携帯品 屋敷) 食料 五十人先着順 会費 三百円 受付 九月十六日から

台湾原住民族資料展 市立公民館では、台湾東南部蕃族の珍しい民族資料を九月十五日まで市民会館ロビーで展示いたします。ヤミ族、パイワン族、アミ族、ピウマ族などの心をなする資料と約百年前の土偶、土器、狩猟用の弓矢、衣類、木器、金属器など四十六点を公開。

くふう創作展 子供たちのくふう、創作がいっぱいな作品を市民会館ロビーに展示します。期間は九月七日、八日(午前九時~午後九時) 九日(午前九時~午後四時) の三日間です。ぜひご観覧ください。

市民のハイキング かつて銀山であったという閑静な山村部落と北摂の山々を見わたす、人里離れたコースを歩いてみましょう。

◇とき 九月十五日(日) 雨のときは二十九日集合 午前八時に阪急岸部駅または午前八時五十分には阪急池田バスセンターへ集合

コース 池田→岸部→銀山→長坂峠→竜王山→東村→東部→国鉄武尾→塚原→行橋 八、一般向け会費 おとな三百円、こども七十七円(帯の運賃は含まれません) 持ち物の 履き、水筒、雨具、お弁当、登山杖、運動靴、お土産、市教委、若原山会

【精道中】 運動会十月六日

【宮川小】 運動会九月十二日

【岩園小】 夏休み作品展

同日 同窓会二十三日 代休日二十

【山手小】 参観日・くふう創作展九月十日 自由研究発表会十五日 運動会十月六日

【精道坊】 参観日九月二十日 創立記念日十月一日

第2期 成人学校

募集中

期間 10月~11月

週 1回

場所 市民会館

申込方法 9月20日(金) 午前9時から公民館

くわしくは公民館へ 電話 5236

| | | | |
|---------------------|-------------------|---------------------|--------------------------------------|
| 家庭教育講座 (月曜・午前中・5回) | 講師 親和女子大学山本真市教授 | 老人講座 (火曜・午後・3回) | 講師 相愛学園橋岡勝教授 |
| 消費生活講座 (木曜・午前中・7回) | 講師 灘神戸生協永谷晴子理事ほか | 新しい法律 (木曜・午後・8回) | 講師 神戸家裁尼崎支部長百村五郎左衛門判事、市原忠厚判事、岡澤良雄弁護士 |
| ママの写真教室 (金曜・午前中・8回) | 講師 写真家ハナヤ勤兵衛氏ほか | わたしたちと政治 (金曜・午後・3回) | 講師 神戸大学尾上正男名誉教授 |
| 秋の家庭料理 (月曜・午後・8回) | 講師 園田女子短期大学佐藤正子教授 | 新しい絵画教室 (金曜・夜・8回) | 講師 嶋本昭三画伯 |

